



スクールレポート

SCHOOL REPORT 56
学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「親子で凧作り」の様子と、中学校での「和太鼓の授業」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

福江小学校「親子で凧作り」 空高く揚がる凧を思い描き共同作業

昭和60年の連凧作りから始まった福江小学校の凧作り。昭和61年には、2121枚の連凧を揚げ、日本連凧クラブからいただいた、「連凧枚数記録認定書」が、校長室に飾られています。

昭和62年からは、田原凧・ばらもん凧・江戸凧など、いろいろな地方の凧を親子で作るようになり、「親子凧作り教室」という行事として続いています。凧作りということで、毎年、お父さんやお祖父さんなどの男性が活躍する場にもなっています。

本年度は12月に、全校児童が一人1個の六角凧を作ることに挑戦しました。体育館で凧作りの講師の方から作り方の説明を受け、各教室に分かれて作り始めました。そして、保護者と子どもが一緒になって、楽しみながらも真剣に作る姿がこちらで見られました。作った凧は、冬休み中に思い思いの絵や文字で飾り、1月にPTA主催で開催した新春親子凧揚げ大会で、空高く舞い上がりました。

※六角凧は新潟で昔から親しまれていた凧で、構造は縦骨と横骨がキの字に組み合っています。



●親子で協力しながら凧作り



●空高く揚がった手作りの凧

●日本の伝統音楽を太鼓演奏で体感



東部中学校「和太鼓の授業」 和太鼓演奏で伝統音楽を体感!

東部中学校では、10年ほど前から日本の伝統音楽の授業の一環として、2年生で和太鼓を使った授業を行っています。生徒たちは、和太鼓の勢いのある音色や威勢のよいかげ声、見た目の振り付けなどを工夫して取り組んでいます。

日本の伝統音楽は、楽器の音をまねて一定の旋律やリズムなどで歌う唱歌をもちいて伝えられることが多いといわれています。授業でも唱歌を取り入れたところ、生徒たちはわかりやすく和太鼓の練習に取り組むことができました。

授業の中で1月に和太鼓演奏の発表を行い、緊張しながらもしっかりと打ち込む様子が見られました。生徒からは「途中間違えたところもあったけれど、最後までできてよかった」「かけ声がそろってよかった」などの感想が寄せられました。

今後も和太鼓を使った授業を継続し、生徒たちが日本の伝統音楽の素晴らしさを体感してくれることを願っています。

